

JOYO BANK NEWS LETTER

2023 年 11 月 29 日

国内総合型インフラファンドへの投資について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、国内の幅広いインフラ事業等を投資対象とする総合型インフラファンドであるジャパン・インフラストラクチャー第一号投資事業有限責任組合（以下、「本ファンド」）への投資を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本ファンドは、国内インフラ領域における資金需要と投資家の運用ニーズとの結節点となり、投資機会の創出・提供を通じて、我が国のインフラ市場が抱える社会課題の解決を推進することを目的に設立されたファンドです。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンに掲げ、今後ともステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともにあゆみ解決することで、新たな価値を創り続け地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

記

1. 背景

我が国の産業や社会生活を支えるインフラは、脱炭素化への対応のほか、デジタルインフラの整備や社会インフラの維持・管理・強化といった課題に直面しており、持続可能な社会の実現のため、多額の資金需要が見込まれております。

当行は、第 3 次グループ中期経営計画で地域を支えるビジネスモデルの追求として「有価証券運用・投融資の多様化」を掲げており、その取り組みの一環として今回、地域創生・SDGs に寄与する本ファンドに投資しました。

2. 本ファンドの概要

名 称	ジャパン・インフラストラクチャー第一号投資事業有限責任組合
設 定 日	2023 年 9 月 1 日
募 集 総 額	300 億円（予定）
投資助言者	ジャパン・エクステンシブ・インフラストラクチャー株式会社※
運 用 会 社 (無限責任組合員)	インフラストラクチャーGP 株式会社
投 資 対 象	日本の経済成長を支えるインフラに関する「脱炭素」「デジタル」などのインフラ、地域経済の活性化・持続的発展に資する社会インフラにかかるプロジェクトおよび企業
※三井住友信託銀行株式会社および株式会社マーキュリアホールディングスが共同で設立した国内インフラ領域を専門とする投資助言会社であるジャパン・エクステンシブ・インフラストラクチャー株式会社が投資判断等に関する助言を行います。	



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151 (代表) www.joyobank.co.jp

3. 投資助言会社の概要

名 称	ジャパン・エクステンシブ・インフラストラクチャー株式会社
設 立 日	2023 年 2 月 21 日
本 店 所 在 地	東京都千代田区
株 主	三井住友信託銀行株式会社 株式会社マーキュリアホールディングス
事 業 内 容	国内インフラ領域を専門とする投資助言業務
U R L	https://jexi.jp/

以 上